

2025-26年度 RI会長のメッセージ



2025-2026年度 RI会長
フランチェスコ・アレツツォ

例会 毎週木曜日12:30
例会場 煌蘭 ダイスビル6 F
TEL : 044-245-0018

事務局 〒210-0004 川崎市川崎区大島1-26-13-1F
TEL : 044-200-9249 FAX : 044-200-9252

E-mail marin-rc@eagle.ocn.ne.jp

Rotary



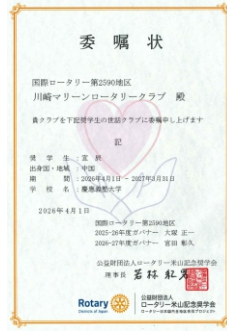
川崎マリンロータリークラブ



会長 松下和喜 副会長 石田生 幹事 林伸彦

- ★司会 峰 孝之 会員
- ★点鐘 松下 和喜 会長
- ★ロータリーソング 「我らの生業」
指揮者：山崎 美津夫 会員 ピアノ：瀧口 幹子

2. 今月より米山奨学生の世話クラブとなり米山記念奨学会よりクラブ宛へ委嘱状をいただいた。
カウンセラーは瀧口会員。カウンセラーの委嘱状を授与。
新しい奨学生は5月14日の例会へ出席予定。



ゲスト紹介



元ロータリー米山奨学生
クマイン トゥアン 様



有志会員によるクラブ奨学金の授与

ビジター紹介

○横浜西ロータリークラブ



ガバナー・ミニー
谷川 公一 様



第7グループ ガバナー 補佐
船木 拓志 様

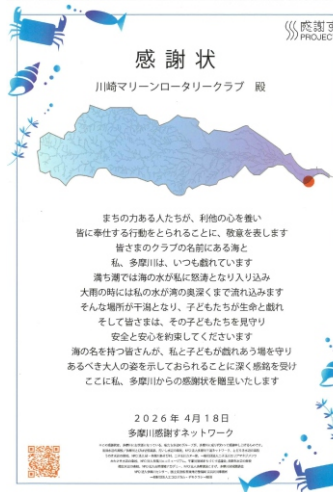
幹事報告

林 伸彦 幹事

1. 5月の例会出欠回答が未回答の方は回答をお願いします。
5月21日の川崎南ライオンズクラブさんとの合同例会は夜間例会ですのでお間違いなく。
2. 次回からの予定。
○4月30日、5月7日 休会
○5月14日 齋藤勇喜会員による会員卓話
○ 21日 夜間移動例会
「川崎南ライオンズクラブ」合同例会

委員会報告

- 奉仕プロジェクト委員会 峰委員長
水辺の楽校よ感謝状をいただいた。



出席報告

出席担当委員
望月 幹仁 委員

会員数	出席率 該当者	出席者	欠席者	ホームクラブ 出席率	メイク アップ	修正 出席率
35	31	25	6	80.65	4	93.55
(備考)						

会長報告

松下 和喜 会長

1. 次年度地区委員会の委嘱状

鈴木慎次郎 会員

- ロータリー財団委員会 / 委員長
- 危機管理委員会 / 委員
- GREEN EXPO 2027 / 委員
- 奉仕委員会 / 副委員長
- 公共イメージ委員会 / 委員
- GREEN EXPO 2027 / 委員
- 公共イメージ委員会 / 委員
- RYLA委員会 / 副委員長
- 資金推進委員会 / 副委員長
- ローターアクト委員会 / 委員

林 伸彦 幹事
山崎美津夫 会員

石田 生 副会長
瀧口 幹子 会員
小山 宏明 会員
松下 和喜 会長

- 親睦活動委員会 森山委員長

4月のお誕生日会！
30日 本間会員

4月30日で40才になります。
皆さんにお祝いいただき嬉しいです！
今後ともよろしくお願いたします。



●コンサートのお誘い 野口会員
鎌倉散策の夜間例会にて歌ってくださった松井美路子さんがご出演されるコンサートに行きませんか？チケットをご希望の方はご連絡ください。～「さくら貝の歌」コンサート～
日時:6月2日(火) 開場:13時30分 開演:14時00分
場所:鎌倉芸術館・大ホール
費用:3,500円

ニコニコボックス

石田 生 副会長

★国際ロータリー第2590地区

ガバナーノミニー 谷川公一様 (横浜西ロータリークラブ)

本日は2027-28年度ガバナー補佐を御クラブ山崎会員にお受けいただきましたので表敬訪問に参りました。どうぞ宜しくお願い致します。

★国際ロータリー第2590地区

第7GPガバナー補佐 船木拓志様 (横浜西ロータリークラブ)

本日、メイキャップにお伺いさせて頂きました。宜しくお願いします。

◆轟会員

皆様、お世話になります。寄る年波にはついていけません！

◆高山会員

皆様、昨日はありがとうございました。

◆松中会員

東北の方で地震がありますが気をつける事こそ必要ですね。

◆小山会員

神明建設野球チーム、松本監督、先日はお疲れさまでした①

ノーヒットノーラン達成、おめでとうございました。

マナーも良く素晴らしいチームでした〇

「代打、俺」も良かったです。選球眼も良く、フォアボールで出塁されました。(ちょっと付度はありましたが〇)

次回も宜しくお願いいたします。

◆鈴木会員

谷川ガバナーノミニー、船木第7グループガバナー補佐、ようこそマリンロータリーにお越しくださいました。

本日は急用の為、ご挨拶が出来ないご無礼をお許しください。当クラブの空気感を楽しんで頂けたら幸いです。

よろしくお願ひ申し上げます。

◆伊藤会員

高山さん、北見さん、齋藤さん、昨日の新人会員研修お疲れさまでした。今後ともよろしくお願ひします。

◆増田(洋)会員

成生AI、凄いです！！

◆山崎会員

昨日の新会員歓迎会へご参加した皆様お疲れさまでした。

谷川ガバナーノミニー、船木様、本日はようこそマリンへ。楽しんでお帰りください。

◆三役(松下会長 石田副会長 林幹事)

谷川ガバナーノミニー、船木第7グループガバナー補佐、本日はようこそお越しくださいました。例会をお楽しみください。本日はクラブフォーラムです。よろしくお願ひいたします。

クラブフォーラム(全体会議)

4月9日(木)とんかつ和富、15日(水)シーハーズにて開催されたファイヤーサイドミーティング。忌憚のない活発な意見交換をし各グループの発表をした。



ロータリー教育研修担当
伊藤 恒満 直前会長



Aグループ発表
瀧口 幹子 会員



Bグループ発表
峰 孝之 会員

テーマ

『マリンでやってみたいこと～奉仕、親睦に限らず～』

- 他クラブの事例として、3か月に1回程度、少人数で会合を行う「テーブルミーティング」という取り組みがある。少人数なので話しやすいと好評で、取り入れてみたい。
- 子供文化センター、ワクワクプラザ等と連携して、地域の中で子供たちの成長を見守り、支援する活動をしていきたい。関係者に話を聞くと、おにぎりキャラバンは子供たちに喜ばれている。また、イベントの引率や見守りのボランティアが不足していると聞いている。子供たちの成長のためにできることをしていきたい。
- 歴代会長が様々な活動を行って爪痕を残してきたので、マリンは奉仕活動が活発なクラブだと思う。近年の活動を通じて、貧富の差が広がっていることに驚いている。子供たちのために何ができるか、考えて取り組む。
- 例会で座る場所が固定されてしまっているのでたくさんの人と話ができるよう席を工夫してほしい。「青少年の育成」にこれまでも力を入れてきた、これからもテーマとする。地区補助金事業は、私たちが収めたお金を有効に活用することであり、マリンはいろいろやっているが、今後も続けていきたい。地域における貧富の差が広がっていると感じている。米一合運動は素晴らしいと思う。
- スマイル、エミフルなどへの支援を継続して進めていきたい。市議会の見学を実現させたい。
- 女子会の内容を充実させて継続していきたい。
- 経済格差により、勉強したくてもできない人など、支援を必要とする人がいる。また、障がい者のスポーツを支援する活動を行いたい。
- ロータリーの基本である「職業奉仕」の観点が少し欠けているように思う。難しく考えてしまうかもしれないが、例えば、私の業界団体では、小学生に電気のことを教える教育を実施している。ひとりひとり、自分の職業にプライドを持って、社会のために役立つ活動がいろいろできると思う。
- 私の業界では、小学校などの施設にミストを設置して体験してもらったり取り組みや、市民祭りに出展して業界の周知活動を行っている。今、元プロスポーツ選手が、経済的に困窮する子供を支援する活動に協力している。マリンの中で何ができるかこれから考えていきたい。米一合運動は素晴らしいと思う。
- 会員が様々な職業、特技を出し合い、異業種交流会のような、何か新しいことを作り出していけたらいいと思う。エミフルのブースを訪れる、太鼓の演奏会を見に行くなど、これまで関わった人々と絆を深め、支援を続けていきたい。市議会見学をはじめ、新しい川崎を発見するツアーなどもよいと思う。
- マリンは今世代交代の時期であり、ベクトルを合わせながら発展させていきたい。マリンの奉仕活動は非常に活発で、数多く実施している。新会員の方にはぜひ一度は見てほしいと思う。ロータリーの魅力は奉仕活動を行う中で仲間を作っていくことであり、各会員それぞれが見つけてきたことを実施できること。職業を通じて社会の役にたつためには、自分の本業、会社が重要。仕事によって社会に貢献していくよう会社の経営に取り組みなければならない。例会の回数が少ないので増やしたい。

本日のニコニコ

20,000円

累計金額

448,000円

- 今期は例会の回数を減らし、奉仕活動への参加者を増やすよう試みたが、やはり例会あつてのロータリーであり、減らすべきではなかったと思う。
青少年の育成を一番に考えており、ロータリーで少年野球に関わることがうれしいし、その他の活動でも、子供たちの喜ぶ姿や成長を見ることができて、素晴らしいと思う。今後も継続して取り組みたい。
コロナ期に入会した会員は、ロータリーについての勉強が不足しているの、ぜひ勉強会をやしてほしい。
- 例会とは何ぞや、例会は基本中の基本であると思っている。
例会に参加する際は、最低限ジャケットを着用するなど、一定の緊張感をもって1時間半の例会に臨む必要がある。
現状には良い点・課題の両方があると思う。先輩会員が取り組んできたことを改めて振り返り、明るく活気のある例会運営を目指したい。また、日頃の感謝を会員同士で共有できる例会にしたい。
- 会員増強の必要性は理解されている一方で、入会後のフォローが不十分だと退会につながる可能性があることを指摘。
「学びの場」を整えないと、ただの親睦の集まりになってしまい、ロータリーである必然性が薄れる。
まず学びの場を確保した上で入会を促し、会員がロータリーへの理解を深める機会をつくる必要がある。
具体案として、希望者向けに月1回程度の勉強会を実施し、ロータリアンとしての資質向上を図る案を示す。
- 仲間の存在は大事。高齢でロータリーを退会すると交友関係も途切れ、新しい友人を得にくくなる。だからこそ、ロータリーでは率直に意見交換しながら、互いに有益な関係を築き、これからも協力してクラブを大切にしていきたい。
- 横浜ロータリー／東京ロータリーへのメイクアップ経験がないので今後検討したい。
- 社会奉仕として、子どもの支援(児童養護施設「スマイル」への支援)に取り組みたい。あわせて、川崎市議会の見学を実施したい。国際奉仕としては、ホルムズ海峡周辺の清掃活動(ごみ拾い)をやりたい。
「今後どうしたいか」といった話をする時間が、少ないと思う。
クラブを今後どう変えていくのか、何を残していくのかを話し合う機会が年2回のファイヤーサイドミーティングしかない。だから、じっくり時間を取って、みんなで「どうしたいのか」を話し合う時間があつた方がよい。
- クラブで決定した奉仕活動は、今後も継続して取り組みたい。
一方で、出席や出席率は数値で示されているものの、「出席しよう」という会員の意識が以前より見えにくくなっている。
- 今後の方針を検討する前提として、最近、委員長などの役割が本来の趣旨からずれているように見えることを指摘。
本来は組織としての基盤を踏まえた上で個性を發揮すべきところ、個性が先に出た結果、ロータリーの基本ルールを外れているように見える場面がある。
まずロータリーの基本ルールについて理解を促した上で、その範囲内で、各会員が基本に沿った活動ができるようにしたい。
活動の楽しさは大事ですが、基本ルールを守らないまま運営すると、新入会員が誤解するおそれがあるので。運営を見直し、基本ルールの下で各自の力を發揮しつつ、クラブの活性化を図るべきことを提起。
- 例会数が少ない、という意見を踏まえて、木曜日に(夜間例会とは別枠で)昼の時間帯に会員同士が意見交換できる機会を設ける案を出す。頻度は、3か月に1回または2か月に1回程度を想定。
新しい会員は試行錯誤しながら活動している一方で、従来から在籍する会員にはクラブを築いてきた経緯があります。
こうした背景を踏まえ、落ち着いた意見交換できる場を設けることで相互理解を深められる、という見解。
- 服装については、例会が内輪の場であることを踏まえて一定の自由度を認める考え方がある一方、ある程度は整えた服装が望ましい。特に合同例会では、より適切な服装で臨む必要があるのではないかと。
子どもが喜ぶ姿を直接確認できる活動には、積極的に協力したい。仕入れの往復時に国道15号線沿いのごみが目立つことがあり、清掃活動なども検討の余地がある。
- ロータリークラブ以外に、地域の町内会活動にも関わっている。
町内会では校庭を使った餅つき大会や夏祭りなどを実施しており、ロータリークラブと町内会が連携して地域イベントを行えば、異なる団体との交流機会をつくれるのでは。
地域活動をいろいろな主体が支えていることを子どもが実感できるのは、子どもの育成にもつながり、地域活性化にもなる。

- 昨年度のテーマは「温故知新」だった。今年度のテーマも同じ趣旨だと受け止めており、いずれにしてもこの考え方は重要。
先輩会員の卓話の機会が今は少ないので、先輩会員を知る機会をもっと設ける必要がある。
奉仕活動については、取組を整理しないまま新しい施策を増やし続けると、予算不足に至る可能性がある。
従来の活動を一律に中止すべき、という趣旨ではありませんが、予算面も踏まえつつ、一定の整理・再編をしながら進める必要がある。
グループホームなどへの支援についても、検討対象として位置づけたい。
- 地域で約20年にわたり草むしり活動を続けている。
続ける中で通行人から声を掛けられる機会が増えたことをきっかけに、地域交流の場として「野立(のだて)」茶会を始めた。
今後も、地域・社会に貢献できる活動をクラブとして推進していきたい。

4月18日 水辺の楽校～開校式～



4月22日 高山会員、北見会員、齋藤会員、歓迎会♪

